

飯田線無人駅連続火災について 労使協議開催！

名古屋地本は、8月21日、申第16号「飯田線無人駅連続火災事象に対する申し入れ」について業務委員会を開催しました。以下、申し入れと主なやりとりです。

【申し入れと回答】

飯田線無人駅連続火災事象に対する申し入れ

2017年6月19日夜、飯田線鳥居駅のトイレから出火したという事象が発生した。また、その3か月前の3月7日には同じく飯田線三河一宮駅の倉庫火災が発生したという事象もあった。幸いにも両事象ともケガ人は発生しなかったものの、同じ飯田線内で連続して駅構内において火災が発生したということについて、容易に看過する事ができない。

下記の通り申し入れるので、早急に団交もしくは業務委員会を開催し誠意ある回答をされたい。

記

1. 2017年3月7日発生した三河一宮駅及び2017年6月19日発生した鳥居駅における火災について、東海鉄事及び警察署、消防署等の調査における原因、対策を明らかにされたい。

【回答】

三河一宮駅 原因：小屋には火元となる物が無く原因不明である。

対策：管理駅による巡回・点検を強化する。

鳥居駅 原因：警察及び消防の所見では放火の可能性が高い。

対策：トイレは当社敷地内にあるが、新城市が管理しているため新城市に
対策を依頼し警察の巡回を強化する。

2. この間、組合は治安、セキュリティ等の問題も含め、安易な駅の無人化に反対し申し入れを行ってきた。飯田線のみならず、各線区における駅無人化施策を直ちにやめること。

【回答】

- (1) 在来船においては路線を維持して列車の運転をできるだけ守るために、様々な角度から効率的な運営に取り組んでおり安全性・利便性・コスト等を踏まえ、お客様のご利用状況を勘案して各駅の営業時間や要員配置を決定している。

(2) 尚、無人駅のセキュリティーについては、定期的な巡回等、適宜適切に対応している。

【やりとり】

組合: 回答の中で三河一宮は原因不明とはどういうことなのか。

会社: 全て不明である。消防からの回答にもない。

組合: 詳しい発生日時を明らかにせよ。

会社: 正確には、三河一宮駅は3月5～6日0時頃、消防署から輸送指令に連絡があり駅が行った時には鎮火していた。全焼であり小屋に何が入っていたかも不明である。

鳥居駅は6月18日20時頃、民間から消防に通報あり輸送指令に連絡あり豊川駅から急行した。建物は残っている。

組合: 申し入れで日付を間違っていた。巡回・点検強化と回答あったが要員的に余裕があるわけではないと考える。強化に限度があるのではないのか。

会社: 適切に実施していく。

組合: 飯田線では、木造駅舎が多数残っている。対策はあるのか。

会社: 消防法に違反しないようにしている。巡回は木造物を中心にみる。倉庫内の廃棄も行う。

組合: 駅に駅員が居るとセキュリティーは随分向上すると考える。信号施設が火災になると列車の運行が長期にわたり支障をきたす。セキュリティー・治安はもっと考慮する必要があるのではないのか。

会社: 民間企業でありバランスは重要である。

組合: 会社は利潤のみを考えて駅無人化をしている。コスト優先と思われる。現状、業績は安定している中で施策が推し進められている。

会社: 会社として存在していくために行っている。他会社では赤字路線の廃止も言われている。当社は、路線維持を重要視している。

組合: 東海道本線、無人化の業務委員会でも言ったが、駅は地域の顔でもある。安全な場所でないといけない。駅要員配置については、もっと議論すべきである。

会社: 組合と議論していくことは、大切と考える。

組合: 今後も、問題が起これば申し入れしていく。

以 上